

2015年10月13日

欧州における炭素繊維中間基材の生産工場新設について

三菱レイヨン株式会社

三菱レイヨン株式会社（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、欧州における炭素繊維・複合材料事業の強化・拡大を図るため、このたび、SMC (Sheet Molding Compound) 中間基材の生産工場をドイツ国バイエルン州に新設することを決定しました。当社グループ会社である Wethje Carbon Composites GmbH の工場敷地内に新設備を導入し、2016年9月に稼働開始する予定です。

欧州自動車市場では、燃費規制の強化を背景とした車体軽量化が活発になっており、高い強度と軽さを併せ持つ炭素繊維強化プラスチック (CFRP) を、生産台数の限定された高級車だけでなく量産車にも本格的に採用する動きが加速しています。

こうしたなか、当社は、自動車用途に適した炭素繊維である高性能ラージトウや、意匠性に優れる外板部品を短時間でプレス成形可能な中間基材である速硬化性プリプレグを開発し製品化してきました。欧州における事業展開では、Wethje Carbon Composites GmbH 及び TK Industries GmbH の買収を通じて CFRP 製自動車部品や中間基材の量産拠点を整備するとともに、CF マーケティング・アンド・テクニカルセンターを設置し現地のマーケティング担当者を増員することにより、自動車用途における炭素繊維・複合材料のニーズを探索してきました。このたびの SMC 生産工場新設は、高級車向けのハイエンドソリューションに加えて、量産車を対象とする低コストで技術的にも利用しやすいソリューションへのニーズに対応するものです。

SMC は、繊維強化プラスチック (FRP) の中間基材の一種で、長さ数センチメートルの繊維を樹脂中に分散させたシート状の材料をプレス成形により部材に加工する工法です。炭素繊維の織物に樹脂を含浸させたプリプレグ中間基材と比べて、複雑な形状の部材を短時間で成形することができます。また、金属と同様に機械特性が均質であるため、従来 of 部品設計ノウハウを活かしながら比較的容易に炭素繊維を利用して、軽量化と高強度化を実現することができます。

これまで当社は、高性能ラージトウやハイサイクルプレス成形 (PCM 工法) 用プリプレグ材料の開発・製品化をすすめてきましたが、このたび、SMC 中間基材をラインナップに加えることで、大手自動車メーカーをはじめとするユーザーへの提案力を強化し、欧州における炭素繊維・複合材料事業の拡大を目指します。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 三菱ケミカルホールディングス
広報・IR室 電話：03-6748-7140